

広報モニターの声

モニターのみなさんから寄せられた議会だより誌面や議会に対するご意見を参考に、より親しみやすい議会だより、また議会になるよう努力してまいります。

議会だより 149 号（前号）誌面に対するご意見・ご感想

- 若者議会について私自身が感じている疑問に近い内容が一般質問に出ていたため、興味深く読むことができました。
 - 今回の議会だより、注目したのは「若者議会」の誌面です。若い世代 3 名の質問内容は、大芝高原の森林計画、大芝荘の活用・運営方法や自治会に対しての取り組み、区、組への質問など、現在抱えている村の内容について関心を持っていると思いました。これからも若い世代の意見交換する企画を継続して欲しいと思います。
 - 「若者会議 2024」の記事を観てとても良い事だと思いました。なお、差し支えのない範囲で結構ですので議員の村との関わりが判る簡単なプロフィールがあると良いと思います。
 - 百瀬議員が質問した「中学部活地域展開」についての補足の意見です。「体育施設の備品の管理について」です。村・教育委員会・わくわくクラブのどこが主体で備品状況確認や予算計上をしているのでしょうか。団体やクラブ代表者からの情報収集など、第三者として議員や委員会などのサポートで現場チェックしていただき整備の一助をお願いできれば幸いです。
- 個人的な事で恐縮ですが、村民体育館内西側の卓球室の卓球台が 3 台以外は古い台です。また、ネット・サポートですが、サポート(支柱)の固定ネジが壊れていて、まともに台に取り付けられないものがあります。中学生も感じているのではないかと思います。尚、当然のことですが使用する側も備品を大切に扱う気持ちが必要ですし、もし壊れてしまったら直ちに管理者に報告することが必要です。毎年上伊那大会を村体で開催しており、去年は村と教育委員会に後援承認をして頂いた関係で村長と教育長にも開会式に出席いただきましたが、地元主管としては他地区に比べて台の不足(古い)など備品が寂しい限りです。
- 議員の方に少しでも関心を持って頂ければ幸いです。
- 「きらきら村の仲間たち」より、楽集会会長の苦労している言葉に、「ただ公民館をオープンしているだけでは人は集まらない」や「回覧のお知らせを観てくれない」は、関心を持って頂くための周知方法などの共通の課題であり難しさを感じました。
 - 初めて設置した機械設備導入補助金は知らなかったです。他にもこういった補助金制度がありませんでしょうか。「こんな補助金がありますよ」という紹介なり、一覧になっているものがありますか。
- 回答** 全戸配布されている「南箕輪村 暮らしの便利帳」の中で、「暮らしに役立つ村支援事業一覧（補助金等）」に記載されています。

- 写真・文字・記事のバランス、配色もよく考えられて工夫されていると思います。
- 今回は若者議会が目をつけた。ここに生まれ育ったわけではない若者が、こんなに村について考えてくれていることに感心しありがたいと思った。
- 若者議会について：「行政や議会に良い印象はなく、それは何も変わらなかった。…他に得たものはひとつもなかった」という若者議員の方の意見、非常に率直で厳しいものだと思われ受け止めました。この発言は、若者議会の意義や、参加された方が得られるはずの経験について、改めて深く考えるきっかけとなります。この感想が建設的ではないと感じられるのも理解できます。しかし、裏を返せば、これは現状に対する強い不満や期待外れの表れであり、むしろ議会として真摯に受け止めるべき貴重な意見だと考えます。
- まっくんファームについては、これからの農業のあり方を、根本的に変えていく必要があると思います。①簡単ではないですが大規模農場にして作業の更なる機械化、効率化を図る。②大きな会社組織にして一般会社と同様に福利厚生の実施をし、若者が参加しやすくする。
- マレットゴルフ愛好家はプレーだけでなくコース整備等も含めての愛好家になってもらいたい。
- 大芝の湯について、浴室の床がすべるので危ないという声を聞きます。私も以前子どもを連れて行った時、子どもがすべって転びました。高齢者も多く利用されているので、改善が必要ではと思います。
- マイナ保険証は未だ反対です。現行保険証も使えるようにしていただきたいです。
- 若者議会で「区、組への未加入」に関する質疑応答は、身近にも脱会を検討している方がいたので興味深く読ませていただきました。村長の言われている日常的な人のつながりは、あまり実感がなく様々考えさせられました。

議会に対するご意見

- 村民の声がより届くように工夫を続けてほしい。
- 選挙の投票率について村の施策がうまく機能していると投票率は下がるといいますが、あまりにも低い投票率には驚きます。なにか抜本的な方策はないですかね。この件についての特別委員会等の設置も必要ではないかと思えます。
- 集落支援について、令和7年度から区を支援するため集落支援が計画されている。区の役員としては助かると思いますが、派遣された人材が、区の業務に対する理解がないと問題が生じると思えます。ある程度、区の運営の中身を知った人選が必要だと思います。
- 自治会検討委員会については、行政協力業務の負担軽減やガイドラインの作成はできた。今後は計画を実施してみて改善、継続すべきところを見極めて、各区からの意見等を聴いていく必要があると思います。
- 今回のように若者の声を聴ける機会を作ってほしい。「村民の声を聴く会」は、なかなか参加しづらく、限られたメンバーになってしまうと思うので。投票率の低下や、政治離れが心配されている中、若い人たちの意見や提案も取り入れることで、多くの若者が政治に関心を持つきっかけになればと思います。

- 広報モニターの声「村に対するご意見」の中で、子ども達の活動スペースがないとの意見があり、子育て世代の転入が多い村と聞いていたので残念な気がしました。公民館は使用していない時間帯に開放してもいいのでは。夏場はクールスポットにしても良いと思います。